

Our Music

わたくしたちの音楽



日本テレビ株式会社社長代理砂土居氏より、日本テレビ杯を授与される、E級金賞 若林 顕君
(ブリガムヤングピアノフェスティバル派遣) 右側は審査委員長の田村 宏先生

特集 ≪オーディション決勝会 成功裡に終わる! ≫

もくじ

●ピティナ ヤングピアニスト オーディション決勝会関係

○入賞おめでとう 2

○決勝会総評 3

○決勝会会場ルポ 4

○決勝会出場によせて (感想文) 5

●<東音>ピアノ教室 No. 59 8

●夏期研修会(後期)トピックス 12

●検定合格者名発表 14

1978

PTNA Young Pianist Competition

ピティナ ヤングピアニスト オーディション

PTNA(全日本ピアノ指導者協会)主催のヤングピアニストオーディション決勝会が8月29日有楽町第一生命ホールにおいて行なわれた。各地区の厳しい予選を通過してきただけあって、甲乙つけがたいほどレベルが高く、審査の先生方も頭を悩ませておられた。結果は以下の通りであるが、来年をめざして、さらに一層の努力が期待される。

＝決勝会入賞者＝ おめでとう!

(18名 尚G級・特級該当者なし)

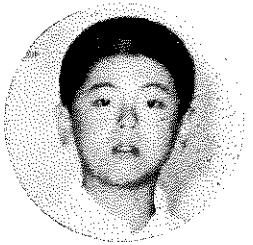
〈金賞〉



A級 日本テレビ賞
指導者賞(馬場節子先生)
小笠原 順子(小2・大阪)



C級 日本テレビ賞
西沢 綾(小5・東京)



E級 日本テレビ賞
指導者賞(菊本哲也先生)
ピアノフェスティバル派遣
若林 頭(中1・東京)

〈銀賞〉



A級 大島 有加里
(小1・四国)



A級 岩野 めぐみ
(小1・東海)



B級 日本テレビ賞
鈴木絵理子(小4・東京)



B級 市毛 景子
(小3・東京)



C級 堀 節子
(小4・東京)



C級 木内 香月
(小5・東京)



D級 日本テレビ賞
高橋 元子
(小5・岡山)



D級 芦川 真理子
(中2・東京)



E級 指導者賞(山室真平先生)
熊谷 千絵
(中3・東京)

〈銅賞〉



A級
砂金 理絵
(小1・東北)



A級
山中 薫
(小1・東京)



A級
竹内 晶子
(小2・東京)



B級
松本 昌敏
(小4・大阪)



B級
長澤 朋子
(小3・徳山)



F級
日本テレビ賞
大西さよ子
(高3・四国)

決勝会総評

審査委員長 田村 宏先生



昨年と違って今年は、聞いていて非常に嬉しくなりました。というのは、予想していたよりも皆さんの演奏が音楽的であったからです。

それで、全部の方に賞をえたいという気さえしていますが、そういうわけにもいかないので大変残念に思っています。

審査を通して、良かった点、これから勉強すべき点を簡単にお話しします。

〈良かった点〉

・指導された先生方の時代別研究が非常によくできていた。

・鍵盤をひっぱたくといった感じの音がほとんど聞かれなかった。

〈これから勉強すべき点〉

・音楽の裏付けが少ない人があった。

・音色感、ファンタジーの不足を感じられた。

・歌づくりはあっても音づくりが少なかった。

・モーツアルトの曲の場合、ペダルの使用の仕方をもう少し研究すべきである。

・ブラームスの曲の場合、ソフトな面が不足していた、

以上です。

私の感想になりますが、正直言って私はコンクールはあまり好きではありません。なぜなら賞をねらって人を押しのけ、競争意識のみに片寄る危険性があるからです。賞だけをねらう演奏は聞いていればわかります。音楽性も何もなくなり、指だけがからまわりしてくるのです。

しかし、今日のこのコンクールを聞いて、その心配がないことがわかり安心しました。今後も一層このコンクールが伸びていってくれることを期待しています。

審査を終えて

伊奈 和子先生



2回目を迎えたピティナ ヤングピアニストオーディション、予想以上に初回より大きく飛躍、前進したことを感じることが出来て、大変嬉しく思いました。

何よりもまず、コンクールにみられがちな、トゲトゲしい雰囲気が全々しなかったこと。何となくゆとりのある気分、総体に、不必要的力みが殆んどみられず、各自、自分なりに安定した演奏であったことが、大きな原因と思われます。このオーディションの傾向といふか個性といふか、1つの姿勢が、はやくも実って来つつある

のをきいて、本当に喜んでいる1人です。アメリカへ派遣されることになった少年の演奏は、今の日本の子供にめずらしく、生命の躍動した素晴らしい音楽をきかせてくれました。オーディションと、この少年の未来の発展を、心から願っています。

— 決勝会出場者 —

— A級 —

(演奏順)

竹内 品子	小2	〈東京〉	習志野市立向山小
岩野めぐみ	小1	〈東海〉	四日市市立三重西小
山中 薫	小1	〈東京〉	日本女子大附属豊明小
小笠原順子	小2	〈大阪〉	吹田市立山田第二小
大島有加里	小1	〈四国〉	高松市立鬼無小
砂金 理絵	小1	〈東北〉	仙台市立若林小

— B級 —

市毛 景子	小3	〈東京〉	市川市立鬼高小
鈴木絵理子	小4	〈東京〉	大井町立亀久保小
長澤 朋子	小3	〈徳山〉	大分市立明野東小
松本 昌敏	小4	〈大阪〉	茨木市立沢池小
中島有希子	小3	〈沖縄〉	那覇市立宇栄原小

— C級 —

西沢 綾	小5	〈東京〉	小布施町立栗が丘小
木内 香月	小5	〈東京〉	木更津市立木更津第一小
堀 節子	小4	〈東京〉	茅ヶ崎市立松林小

— D級 —

芦川真理子	中2	〈東京〉	武蔵野市立第3中
高橋 元子	小5	〈岡山〉	福山市立伊勢丘小

— E級 —

木幡 優子	中1	〈東北〉	仙台市立中山中
若林 顯	中1	〈東京〉	日高町立高麗中
熊谷 千枝	中3	〈東京〉	立川市立立川第八中

— F級 —

阿部理佳子	高2	〈四国〉	高松第一高
柴田 民子	高2	〈東京〉	千葉県立東葛飾高
大西さよ子	高3	〈四国〉	愛媛県立松山北高

— 決勝会審査委員 —

田村 宏 (審査委員長) 東京芸術大学教授

市田儀一郎 武蔵野音楽大学教授

伊奈 和子 相愛女子大学教授

坪田 昭三 東京芸術大学助教授

中村 菊子 ボードウインコンクール(米)審査委員長

中田 喜直 作曲家・フェリス女子大学教授

ロトー美代子 ジュリアード音楽大学教官

田端三恵子 元ドイツ国立リューベック音楽大学教官

松崎 伶子 ピアニスト

(順不同・敬称略)

決勝会

会場ルポ

7月から全国各地で予選が進められてきた、ビティナヤングピアニストオーディションの最終審査である決勝会が、8月29日東京有楽町の第一生命ホールで開催された。全国各地から選び抜かれた代表者22名達とともに、会場には友達、父兄、先生方が多数つめかけ、ホールは立見席ができるほどの大盛況であった。

午後2時、審査委員の先生方の紹介があり、いよいよ審査開始。A級出場者は、特に幼ない子が多く、場内からは応援の意味の拍手が一段と高まる。全国各地から選び抜かれただけに、さすがにどの子もうまく、また予選、本選を経験してきたためか、舞台マナーも堂々としている。小さな体に大きな緊張を背負い、曲目が1つ終わるごとに白い鍵盤をじっと見つめ、呼吸を整え、気持ちを落ち着けようと必死になっている姿を見ると、ただただ今までの練習の成果を全て出し尽くしてほしいと祈るだけであった。

聴衆の中にはペンを持ちメモを取る人、体で拍子を取り演奏者と一体になっている人、また予選、本選を通して耳になじんだ曲を聞いて、友達同志顔を見合わせている子供達、様々な顔がある。2ヶ月間に渡るオーディションの結晶が全てこの場に表現されているように見える。

上級になるにつれて息をもつかせぬ演奏が続き、場内に流れる空気も厳しさが一段と増していく。上級ともなると一曲弾くだけでもかなりの時間がかかり、4曲弾けば身体的疲労もそれだけ強くなる。F級などは1人約30分近くの演奏となり、額の汗をぬぐいながらの力演が続いた。聴衆もいつしか演奏に引き込まれ、1曲終わるたびに場内を音のないため息が包む。

午後8時30分、約5時間に及ぶ審査も無事終了した。審査発表の時刻も刻々と近づき、場内のムードはいやが



大盛況のオーディション会場

上にも盛り上る。

羽田会長夫人の挨拶に引き続き、発表に先がけて、検定合格証授与式、本選参加証の授与式があり、羽田会長夫人より各々代表に証が手渡された。

ステージの上には決勝出場者の顔が並ぶ。どの顔も緊張の色を隠せない。その姿を見ていると、少しでも早く結果を知らせ、緊張から解き放してやりたい、ただそう願うのみであった。

審査委員の入場に続いて、審査委員長の田村宏先生より総評を受けたが、非常にユーモアあふれるお話に、場内の空気も一瞬なごやかなものに変わる。

いよいよ発表である。A級より順番に金賞、銀賞、銅賞、指導者賞が発表され、田村審査委員長より賞が手渡された。また日本テレビ賞も各級1名ずつ選ばれ、日本テレビ常務取締役、砂土居正和氏より日本テレビ杯が入賞者に贈られた。

自分の力が認められ、思わずほおがゆるみ白い歯がこぼれる子、増え緊張してぎこちない足どりになる子、下を向いて唇をかみしめる子、いろいろなドラマが展開される。

アメリカでのピアノフェスティバル派遣の決まったE級、金賞の若林頤君は、発表の瞬間思わず腕を上げた。ステージの上ということもあり、声を出してとび上れない。しかしそれだけに、じっと喜びをかみしめている様子がこちらの胸を熱くする。

2ヶ月間に渡り数々のドラマを展開してきたオーディションも、午後9時30分、無事幕を閉じた。

このオーディション中、舞台の上に表われない所でも様々なドラマが展開されてきたことだろう。本人の才能と努力もさることながら、家族の暖かい励まし、先生方の惜しみない御努力、どれ一つとっても大変な御苦労ではなかったかと思う。華やかな舞台の上に表われてきたのは、その努力の結晶と言えるのであろう。

今年のオーディションは終わった。しかしこれで全てが終わったわけではない。新しい自分の目標に向かって負ることなく、一層の努力を望んでやまない。



羽田会長夫人より本選参加証を受ける代表者

決勝出場によせて

《その1・出場者の感想から》

「コンクール けっしょう会」

A級 銅賞 1年 山中 かおる

(日本女子大附属豊明小学校)

8月29日の朝、日がさめて、私はとびおきました。「今日はコンクールのけっしょうの日」と、思いました。「うまくひけるかなあ。」と、きゅうに心ぱいになって、おかげをしましたが、なんだかゆびがうごかなくなってしまった。だって私は、「えらい先生方のいる前でひくのだ」と、思ったら、こんなになってしまったのです。でも「けっしょう会」の時は、だいたい思うようにひけましたが、「ちょっとしたけんか」が、少しはやくなりすぎてしまいました。

私はその後、もっと大きいお姉さんや、お兄さんたちがひくのをきいていましたが、中学1年生のお兄さんがひいた時は、びっくりしていました。だって、私のお兄さんと同じ年なのに、ほんとうにすばらしかったのです。きっとたくさんおけいこをしたんだと思います。そのお兄さんが、アメリカへ行くことになりました。すごいなあと思いました。私は、これからもっとおかげをしようと思います。

「あさから、ドキドキして」

A級 銀賞 1年 岩野 めぐみ

(四日市市立三重西小学校)



朝日新聞 北勢版に

掲載された岩野さん

8月29日のけっしょう大かいにでるため、わたしは28日のまえの日に、なごやをでました。とうきょうでいつもとまるホテルで、よるピアノがあいてからかしていただいて、わすれないように、ピアノのおけいこをしました。

29日のあさ、またピアノをかしていただいたて、ていねいにさらいました。きょうは、なんだかきのうとちがつ

て、あさからドキドキして、おかあさんに「そんなにはやくからドキドキしていたらいいへんよ、おひるからはじまるのだから、きをおちつけなさい」といわれました。

けっしょうたいかいでは、くじびきをしたら、わたしは2ばんめで、「ああよかった、1ばんめでなくって」とすこしあんしんしました。先生におしえていただいたことを、よく思いだしてひきました。

あとで大きいおにいさん、おねえさんのひくのを、さいごまでいて「ただゆびをうごかしているだけではないなあ」わたしもこれから大きくなったらあんなにうたってひけるようになるかしら、がんばりたいなあ、ともいました。

「決勝会に出場して」

B級 日本テレビ賞 銀賞 4年 鈴木絵理子

(埼玉・大井町立亀久保小学校)

よ選会、本選会、決勝会と、三回ぶ台の上でピアノをひきました。どのピアノもスタンウェーで、とてもひきやすいピアノでした。わたしは、れん習の時も、こんなピアノでひけたらどんなにいいだろう、と思いました。

よ選会、本選会、とくらべて、決勝会の時はあまりあがらないでひけたけれども、自分の番がくるまでは、とてもドキドキしていました。ひき始めてからは、ひくだけがせいいっぱいでした。ひきおわって、自分ではあまり上手にひけたと思いませんでした。先生にも、「いつものようにひけなかつたよ。」と、おこられてしましました。でもひょうしょう式で、わたしが銀賞だとわかった時は、とてもうれしかったです。

この一ヶ月の夏休み、いなかにもいかず、近所のお友だちがぼんおどりや、プールに行っている間も、一人でピアノのれん習をしていたかいたたな、とその時思いました。このコンクールに出て、どきょうもつきました。これからも、もっと、もっと、がんばろうとわたしは、思います。



決勝会演奏風景

「ステージの上で 何もかもわすれて…」

C級 日本テレビ賞 金賞 5年 西沢 綾
(長野・小布施町立栗が丘小学校)

8月29日は決勝会でした。この日は朝一番の列車で行くことになりました。列車に乗っている間、私はきんちょうしてしまうだろうか、何賞をとるのか、今まで練習してきたことがじゅうぶんに發揮出来るだろうかなど、さっぱり見当もつかず、決勝会のことを考えると心がおちつきませんでした。

さていよいよ決勝会が始まりました。演奏者はステージのうらへ向かいました。この時は、あまりきんちょうしてはいなかったのですが、何だか心がおちつきませんでした。

A級の人たちが弾き始めました。おちつかなくなつて何度も何度もハンカチで手をふいたりしていました。

とうとうB級の人たち全員が終わりました。次は私の番です。ステージに上がりました。もう何もかも忘れました。大ぜいの人たちが聞いていてることも、しんさ員の先生方がいらっしゃることも、それから自分がステージに立っていることも……。

(はじめのパッハはこんな音楽だ。左手のクレッシェンドに気をつけて、パッハらしく。)こう思って弾きはじめました。思ったよりも調子良いきました。もうむでピアノだけに神けいが集中してきました。

四曲全部終わりました。気持ちよく弾けたので、ステージうらにもどると、何だかとっても楽しかったような、スッキリしたようなうれしい気持ちがしました。

とうとう表しょう式です。B級も終わり、いよいよC級の発表です。福田先生なんかは、「さて、この中に銀賞2人、金賞1人がいます。だれでしょう。」なんておっしゃるものですから、しだいにドキドキしてたまらなくなりました。

「金賞は西沢綾さんです！」聞いていた人たちが、いっせいにはく手してくれました。田村先生から金賞の賞状をいただいてから、日本テレビ賞とそのカップを受けとりました。この時私はとってもうれしくて、何といつたらいいかわかりませんでした。

帰る途中、福田先生が、「おめでとう。」と言って下さったので、私はとってもうれしくなりました。帰るのが楽しくなるなあと思っていると、今度はしんさをして下さった中村菊子先生が話しかけて下さったので、そのこともうれしい思い出となりました。



田村宏審査委員長より賞を受ける入賞者

「ラッキー続きで」

D級 銀賞 中2 芦川 真理子
(武藏野市立第3中学校)

なんとか予選を通過し、7月27日本選会に出場することができました。しかし、会場へ行くなり、最初から最後まで手がこわばり、弾いている間も上がりっぱなしで今どこを弾いているかまでわからない状態でした。他の人も去年とは比べものにならない程レベルが高いし、受かるわけはないと思っていました。

案の定、本選では見事に落ちていました。しかし、ラッキーなことに次々点ということで、何とか決勝予備会に出る事になったのです。私にまた、新たなファイトがわいてきました。

そして決勝予備会。まだ練習不足なのか、「ミスをするのではないか」という心配が私を専ら緊張させました。私の前の人の演奏がとてもうまかったので、半分あきらめながら弾いていました。「もう決勝には出れない」などと思って決勝出場者の発表をボケッと聞いていました。するとどうでしょう。自分の名前を呼ばれたのです。あまりの予想外の出来事にうれしさで心臓がいつまでもドキドキ鳴っていました。

決勝の始まる前、楽屋で過ごした数分間。それはあまりにも長く、苦しいものでした。自分が1番最初に弾く事を考えたりすると、頭に血がのぼって、手に血の気がなくしていくような感じでした。とうとう自分の弾く番になりました。しかし、もうミスのことなど気にしていました。「とにかく音楽に聞こえるように弾こう」考えている事はそれだけでした。不思議なことに、全く上がっていませんでした。弾き終わるとなぜかうれしくてたまりませんでした。「賞がとれなくたって、ここまできて弾けたんだからとつくづく感じました。

おかげさまで念願以上の銀賞をいただくことができました。この会ではとても勉強になり、またとっても楽しい思い出となりました。本当にありがとうございました。

「大好きな課題曲」

D級 銀賞 5年 高橋 元子

(福山市立伊勢丘小学校)

私は、今年はどうしても入賞したいと思って、いっしょくけんめいがんばりました。去年妹が銀賞になったからです。

今年の課題曲は、私が前から弾きたいと思っていた、モーツアルトのソナタだったのでD級を受けました。どの曲も大好きで気持ちよく弾けました。

本選の時は、大きいお姉さんたちばかりなので心配でしたが、いっしょくけんめい弾きました。本選の時から決勝の時まで、あっという間にすぎてしまいました。

決勝の日は、朝早く新幹線に5時間乗ってきたので、すぐ弾くのは大変でした。えらい先生方に聞いていただけるのでうれしくて、いっしょくけんめい弾きました。

私は、練習はつらい時もあるけど、ピアノは大好きなので、これからもずっと続けて、いろいろな曲をたくさん弾きたいです。

「あのトロフィーを もらえたなら……」

ブリガムヤングピアノフェスティバル派遣

E級 日本テレビ賞 指導者賞

金賞 中1 若林 顕

(埼玉・日高町立高麗中学校)



金賞を授与される若林君

決勝会の日、ぼくの弾く時間は夕方だったので、家で少し練習してから、出かけました。予選、本選と楽しく弾けたので、今日は思い切り弾きたいと思つ

ていました。

少し早めにホールに着いたので、前の人たちの演奏を聞いていました。ピアノの横にはトロフィーが、並んでいました。(あのトロフィーをもらえたらしいな。……)今回は、先生や友だち、おばさんたちが、大勢来てくれたので、心強く感じました。

くじ引きをして、ぼくは、3人中2番になりました。いよいよD級の人の演奏が始まりました。ぼくは、緊張してしまって、何回もトイレに行きました。D級は2人だったのに、すごく長く感じました。そして、ついにE

級の1番の人が演奏を始めました。最後の曲が終わる時、ぼくは立ち上がって、1回大きく深呼吸して、ステージに上りました。緊張して、堅い演奏になってしまいました。最後の方で、「ガーン！」とひどい音間違えをしたので、「しまった！」と思いました。

表彰式の時、あきらめてはいたけれど、E級の発表になると、心臓がこわれそうな思いでした。「金賞、若林顕君！」——なお、若林君には日本テレビ杯が贈られます。——さらに、若林君には、来年の6月アメリカブリガムヤング国際ピアノフェスティバルに出場してもらいます。——」「…………」あまりにもうれしすぎて、何が何だかわかりませんでした。審査員の先生方に、ほめられて、とても感激しました。

これからは、またうきうきした心を捨てて、もっともっと、がんばっていきます。

「上手な人ばかりで……」

F級 高2 柴田 民子

(千葉県立東葛飾高校)

私は、今まで人前で演奏することが少なかったし、そういう時には、最初の音からわからなくなるほど、あがってしまうので、これではいけない、少しでも慣れなくてはと思って、このオーディションを受けました。自分の番を待って前の人達の演奏を聞いて、本当に上手な人の多いのにびっくりしていました。そして、「もうだめだ、もうだめだ」と思っていました。

予選、本選は運よく通ることができましたが、それはボロが出る前に鐘が鳴ったからだと思います。それでも発表を聞いた時は、夢を見ているような、何とも言えずうれしい気持でした。

決勝では、前日までここも注意しよう、あそこも気を配ろうと心していたのですが、本番前には、とにかく弾き終えさえすればいい、途中でつかえて、あとが出てこないなんてことにだけにはなりたくない、とそれだけしか考えられませんでした。弾いている最中は、いつもの自分が弾いているのとは全然違うような感じで、どうすることもできませんでした。結局全然だめでした。

でも考えてみれば、予選、本選を通ったのが不思議だったのだし、1回しかできなかつたかもしれない経験が3度もできたのですから、目的は達することができたと言えるので、良かったと思います。貴重な体験をすることができました。これを機会にこれからもがんばろうと思っています。

(※オーディション特集、P.10に続きます。)

野を越えて

曲 エドワード・マクダウエル

Lightly and joyously ♩ = 116

作曲者 エドワード・マクダウエル (1861~1907)

エドワード・マクダウエルは、建国202年を迎えたアメリカ生れの、最初の重要な作曲家と言えましょう。今年は、彼の死後70年を迎えたわけです。日本の洋楽の先覚者滝 廉太郎の生れは1879年、そして1903年に23年の短い生涯を終えていますから、このアメリカの作曲界草分け時代を想像することができるでしょう。

マクダウエルは、音楽の勉強をヨーロッパで受け、ヨーロッパで自分の作品を出版したりして、アメリカに帰国しま

バッハ・クラヴィア曲研究

小林 仁 53年10月3日(火) 6:30P.M.

インベンション
装飾音・バッハ曲の学習法

橋本 英二 53年10月23日(月) 6:30P.M.

フランス組曲
イギリス組曲

ベラ・シキ 53年10月25日(水) 6:30P.M.

エディション・リズム・ディナミック・音色について

高橋 悠治 53年12月11日(月) 6:30P.M.

イタリア協奏曲
フランス序曲

全8回 ¥18,000(指定席) 共通1回券 ¥3,000 共通4回券 ¥10,000 都内プレイガイド取扱い中(会員2割引)

会場はいざれも、池袋豊島区民センター 03(984)7601 池袋東口下車徒歩3分 三越裏

橋本 英二 53年12月12日(火) 6:30P.M.

トッカータ

海外在住教授 53年12月18日(月) 6:30P.M.

アンナマグダレーナの為のクラヴィア曲(予定)

橋本 英二 53年12月25日(月) 2:30P.M.

平均率

高橋 悠治 53年12月25日(月) 6:00P.M.

6つのバルティータ

パステイン研究会

第1回 53年11月16日(木) 9:30A.M.

はじめてパステインを使う方の為に

講師 浅見英夫

教材 はじめましてピアノさん・全ての調と練習曲

第2回 53年11月30日(木) 9:30A.M.

パステインの中のリズム指導

講師 小川静子

教材 ベリーヤングピアニスト 1, 2, 3

第3回 53年12月21日(木) 9:30A.M.

ピアノを通しての総合音楽教育

講師 川崎智子

教材 ライティング 1, 2, 3, 4, 5, 6

第4回 54年1月11日(木) 9:30A.M.

成人の為のピアノ導入法・他メソードとの違い

講師 ラーリー・マックガレル

教材 成人になってから始めるピアノコース

レベルI 他

時間 いざれも午前9:30~12:00

会場 巣鴨〈東音〉サロン 巣鴨駅南口向い駅より1分 03(946)4457

全8回 ¥15,000 全日本ピアノ指導者協会主催共通聴講券 4回券 ¥10,000 1回券 ¥3000(会員2割引)

■全8回聴講された方には、アメリカより弗10分の楽譜が送られます。

■指導者の為のパステイン個人レッスン 御都合のよい日時にどうぞ One Lesson ¥5,000

■子供のレッスンの見学もできます。御希望の方は下記へお申し込み下さい。

第5回 54年1月25日(木) 9:30A.M.

パステイン・ライブラリーの使い方

その1

講師 上総治子・中山純子

教材 メソード・セオリー・ブリマーからレベルIV

第6回 54年2月8日(木) 9:30A.M.

パステイン・ライブラリーの使い方

その2

講師 上総治子・中山純子

教材 テクニック・初見・アンサンブル レベルIV迄

第7回 54年3月1日(木) 9:30A.M.

導入時の創作指導と聴音指導

講師 池田早梅

教材 聴音と創作 1, 2, 3

第8回 54年3月15日(木) 9:30A.M.

おさらい会の為に レパートリとしての
楽曲

講師 金子勝子・石井和子

教材 ピアノソロ・ファビリット・リトルチャーハ

■表下の11/21(火)のヤン・ペネンカ氏は病気のため来日不能となり、代りにヨゼフ・ハーラ氏の講座を〈東音〉サロンにおいて午前10:00よりおこないます。

53年秋季54年春季 ピアノ講師も募集中〔講師希望の方の電話でのお問合せは御遠慮下さい〕

全日本ピアノ指導者協会 東京支部 東京音楽研究会 東京都豊島区巣鴨 1-18-9-3F TEL. 03(944) 1581

PTNA ピティナ催し物御案内

10月・11月

〈10月〉

- 2日（月） 6:30 P.M. 豊島区民センター
03 (984) 7601
海外音楽大学教授者によるピアノ演奏法研究第2回
田端 三恵子（ドイツ・リューベック国立音大教官）
主題 変奏曲の演奏法・練習法
曲目 モーツアルト「キラキラ星変奏曲」他

- 3日（火） 6:30 P.M. 豊島区民センター
バッハ・クラヴィア曲研究 第1回 小林 仁
・インベンション
・装飾音・バッハ曲の学習法

- 4日（水） 10:00 A.M. 成城 03 (483) 1518
評議員会

- 5日（木） 10:00 A.M. 〈東音〉サロン
リトミック研究会 03 (944) 1581

- 12日（木） 9:00 A.M. 〈東音〉サロン
研究部 ラーリー・マックガレル

- 15日（日） 2:30 P.M. 〈東音〉サロン
ショパン愛好会 03 (701) 8918 (雁部)

- 18日（水） 6:30 P.M. 豊島区民センター
海外音楽大学教授者によるピアノ演奏法研究第3回
ペラ・シキ
(ハンガリーが生んだ世界的なピアニスト)
主題 ショパンエチュード Op 10全12曲
Op 25全12曲の演奏法と指導法

- 19日（木） 10:00 A.M. 〈東音〉サロン
バスティン相談室

- 20日（金） 10:00 A.M. 名古屋・広小路ヤマハホール
052(201)5141 (山本)
ペラ・シキ公開講座

- 21日（土） 10:00 A.M. 銀座・ヤマハゲストルーム
03 (209) 6627 (武田)
ペラ・シキ個人レッスン

- 22日（日） 10:00 A.M. 成城 内野スタジオ
03 (483) 1518 (内野)
ペラ・シキ個人レッスン

- 23日（月） 6:30 P.M. 豊島区民センター
バッハ・クラヴィア曲研究 第2回 橋本 英二
フランス組曲、イギリス組曲

- 25日（水） 6:30 P.M. 豊島区民センター
バッハ・クラヴィア曲研究 第3回 ペラ・シキ
・エディション・リズム・ディナミック・音色
について

- 29日（日） 10:00 A.M. 公開講座 (広島支部) 0822(94)2445 (藤田)

〈11月〉

- 2日（木） 10:00 A.M. 〈東音〉サロン
リトミック研究会 富田 巧

- 3日（祝・金） 10: A.M. 〈東音〉サロン
専門コース・研究部
田端三恵子個人レッスン

- 9日（木） 9:00 A.M. 〈東音〉サロン
研究部 ラーリー・マックガレル

- 16日（木） 9:30 A.M. 〈東音〉サロン
バスティン研究会 浅見 英夫

- 21日（火） 10:00 A.M. 〈東音〉サロン
海外音楽大学教授者によるピアノ演奏法研究第4回
ヨゼフ・ハーラー (プラハ・アカデミー教授)
主題 チェコのピアノ曲の音楽表現法
スマタナ・ヤナーチェック

- 23日（祝・木） 6:30 P.M. 日比谷公会堂
ワルシャワ・フィルハーモニー室内管弦楽団と協演
モーツアルト・ピアノ C.K.414 武田 真理

- 27日（月） 10:00 A.M. 〈東音〉サロン
カラーラ・グランディア (予定) 公開講座

- 30日（木） 9:30 A.M. 〈東音〉サロン
バスティン研究会 小川 静子

全日本ピアノ指導者協会々員の方は必ずお読み下さい

みのりの秋がめぐってきました。会員の皆様にはますます御活躍のことと存じます。

当協会も創立11周年を過ぎ、ようやく第2期の一歩を踏み出したことになります。特に定ったスポンサーもなく今日まで続いてまいりましたのは、会員お一人お一人の支えがあったればこそです。今後も、自分の研修会として、この会を盛り上げていこうではありませんか。

◆ 今後のスケジュール表を左頁に掲げました。ぜひ、一講座でも二講座でも、研修の為に御参加下さるようお待ち申し上げます。

◎ 次に、会員の方のリサイタルや、おさらい会、研究発表などの情報を、お互いに交換したいと思いますので、どんな小さなことでもお知らせ下さい。2ヶ月前に御連絡いただければ幸せです。

◆ 10月4日の評議員会の折、正会員規約を検討する予定ですので、決り次第正会員該当者に御連絡します。該当される方は、どうぞ御力になって下さい。

◆ ベラ・シキ先生の個人レッスンの希望者を募っています。あと五、六人でしたら空があります。どうぞお申し出下さい。

又、公開レッスンも左記の通り開催いたします。ふるって御参加下さい。

ベラ・シキ先生は、国際的な優れたピアニストであり教授です。国際コンクール出場者は、よくその門を叩きます。松崎伶子さん、宮沢明子さんもその中の一人です。

◆ チェックレッスン 研究部々長田端三恵子先生により毎月1回開催いたします。これは、日頃お勉強していること、チェックということで、特に、御自分の

◆ 54年9月までの会費を納入して下さい。

当協会では、事務簡略化の為、9月を会費切替え月と定めております。古いボーナスカードの会員証では、タイプスされている文字と実際の納入月が一致していない場合もあります。下記をよく御覧の上、ぜひ10月末迄に御送金下さいますようお願いいたします。

◎ 又、11年間、会費が1ヶ月300円と全く変わっておりません。この11年間に収入、物価が倍以上になっています。

	葉書き	封書	会報送料	アルバイトの時間給
11年前	7円	15円	24円	70円
現在	20円	50円・60円	200円	550円

そこで、今期より、会費はすえおき、会報送料分を御負担頂きたいと思います。

会費1年分 ￥3,600 送料分 200円×6回分 ￥1,200 (200円切手6枚でも結構です)

【送附方法】 「現金書留」「同封の郵便振替」「銀行振込」の3つの方法のいずれかでお願い致します。銀行は第一勧銀大塚支店、三和銀行巣鴨支店、全日本ピアノ指導者協会宛

あなたの会費は 年 月迄納入済みです。 54年9月迄の会費 円と、会報送料分 1,200円(切手でも可)を御送り下さい。尚同封の宛名シール6枚にて、住所、御氏名に様をつけて御送り下さい。 担当者名

お子さんを指導されている方におすすめします。

若いお母さま先生は、ぜひ自分の子供と共に成長して下さい。又、生徒さんと共に研究すると言う意味でも、どうぞ御予約の上御越し下さい。次回は11月3日(祝)です。会員の方には、このレッスンの模様が参観できます。ぜひ一度参観にいらして下さい。

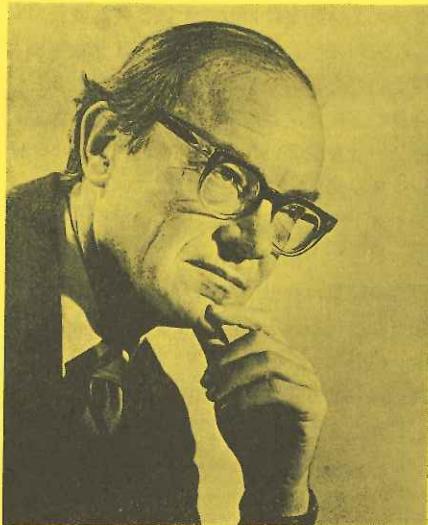
■ 研究部のレッスンについて。研究部は、いわゆる自らピアノを弾く部です。個人グループレッスンをおこなっています。バイエル程度から、ショパンのバラードまで、その方の技量に合せて、個人レッスンを受けられます。先生は、田端三恵子、ラーリー・マックガル、松崎伶子の各先生。

■ 専門コース いわゆる将来音楽学校希望者、留学希望者を対照とした生徒さんたちを、正会員の先生方に御紹介して、目的に向ってがんばっていただくというコースです。先生は、正会員の松崎伶子、田端三恵子、その他全国各地にいらっしゃいます。お問合せ下さい。

■ 東京でのおさらい会の会場を二、三予約しております。会場をおさえたり、そのマネージをしながら、子供の指導をするのは大変だ、とか、生徒が少くて、一つのホールを自分のところだけで借りるのは、負担が大きすぎるという、方々の為に、協会のマネージメント部で、プログラム作りから、演出まですべてお世話するものです。時期は、来年5、6月中。

◎ 会に華を添えるための演奏家、コンクールで優秀な成績をおさめたピティナヤングピアニストや、有名なピアニスト、バイオリニストやフリューリストなど各分野のアーティスト御紹介をしています。地方にも出かけますので、どうぞお問合せ下さい。

ベラ・シキ



〈生れ〉 ブダペスト

〈師〉 ドフナニイ、ディナ・リバッティ
〈コンクール〉 リストコンクール

1942年・43年第1位

国際コンクール荒しと言われるほど
にヨーロッパの数々の国際コンクー
ル入賞

〈教授歴〉 ブダペスト国立音大、ジュネ
ーブ国立音大、ワシントン大学等の
教授

〈教え子たち〉 宮沢明子・松崎伶子など
〈コンクール審査員〉 リーズ国際コンク
ールは創立以来、その他ヨーロッパ
各地で

〈レコード〉 コロムビア他より

ハンガリーが生んだ世界的なピアニスト

1978年10月18日(水) P.M. 6:30

ショパン/エチュード
op 10全12曲 op 25全12曲
演奏法と指導法

1978年10月25日(水) P.M. 6:30

バッハ/ピアノで弾く時
インベンション・フランス組曲
平均率・バルティータなど

音色・ディナミーク・エディションについて

場所 池袋豊島区民センター6階 文化ホール

03 (984) 7601 池袋 東口下車3分 三越裏

聴講券 指定席券 ¥3000 自由券 ¥2000

3回券 ¥8000 2回券 ¥5500

都内各プレイガイド取扱い中
会員2割引、学割は本部へ

主催 全日本ピアノ指導者協会

東京都豊島区巣鴨1-18-9-3F

03 (944) 1581

レッスン希望者 募集中 公開レッスンは上記曲目 個人レッスンは曲目自由

.....き.....り.....と.....り.....線.....

申込書

私こと下記A, B, C, D, E, F, Gの代金￥_____を添えて申し込みます。

(御希望のところに○をつけて下さい。いくつつてもよいわけです。)

A. バスティン全8回券 ¥15,000

B. バッハ及び海外音大

教授者の共通7回券 ¥16,000

C. 共通4回券 ¥10,000

D. 共通2回券 ¥5,500

E. 共通1回券 ¥3,000

いずれも指定席券 会員は、上記のみ2割引で計算して下さい。

F. ベラ・シキ個人レッスン ¥20,000

G. 宿泊希望 _____月 _____日 一泊 ¥4,000

氏名

会員は会員番号

住所

Tel.

学校名、職業など

年 月 日

The musical score consists of five staves of piano music. Staff 1 (treble clef) starts with dynamic *f*, followed by a sixteenth-note pattern with a 3 overbrace, dynamic *p*, and a melodic line. Staff 2 (treble clef) follows with a similar pattern. Staff 3 (bass clef) has a dynamic *f*. Staff 4 (bass clef) has a dynamic *p*. Staff 5 (treble clef) shows a melodic line with dynamic *p*. The score concludes with a dynamic *pp* and a pedal mark (*).

slightly rit.

した。それから、指揮、作曲、ピアニスト、コロムビア大学の教授など、音楽のあらゆる分野に活躍しましたが、彼の名を今まで高らしめたのは、ここに御紹介するようなピアノ小品によってです。

ペンネームを、エドガー・トーンと言っていましたから、初版はその名が記されています。

上の曲は、モーリス・ヒンソン氏の編纂による「六つの幻想」の中の1曲で、エドガード・マクダウエルの作品7の4番目の曲です。やさしい曲でありながら、指の小さな方にとては大変むずかしく感じる曲です。指を抜げる練習になりますから、1オクターブがとどくようになったお子さんが、がんばって弾くのに適切でしょう。

和音の響きの美しさをよく感じ、大平原を想し、さわやかな音色で弾いて下さい。ペダルのつけ方にも気をつけ、バスからソプラノまで、にごらぬよう一つのハーモニーを響かせるため、一つ一つにペダルを踏んで下さい。

小さな手の方は、2人で連弾することをおすすめします。アンサンブルのお勉強になります。

《その2》

指導者賞に輝く先生方から

「二人も金賞を頂いて」

馬場 節子先生（吹田市在住）

「指導者賞を得た感想」と、編集部より御依頼を得て、どうしても書くことができず、おことわり申し上げたのでした。

そして1週間たち、他の先生方がお書きになっているのだから、ぜひと再度おすすめいただき、では感謝の気持ちを、と重いペンを取った次第です。

昨年、B級で、田村明子が金賞を、そして今度は、A級で、小笠原順子が金賞をいただき、ただただ「うれしい」の一言でございます。

私など、ピアノ教師としてのキャリアも浅く、身にある光栄と存じております。この上共、私自身ひたすら勉強に励み生徒達の指導にあたりたいと思っている次第でございます。

どうも本当に有難うございました。

「貴重な機会が与えられて」

山室 真平先生（狛江市在住）

一般のピアノ学習者にとって、直接教えている教師以外の人間から客観的評価を得る機会は殆ど無いのではないかでしょうか。既成のコンクールは優秀者の選抜という側面が強く出すぎてしまって、宝クジでも買うようなつもりで参加している人もあるようです。その点、PTNAのオーディションは、その間口の広さが大きな特色となっていると思います。

課題曲を練習する上で一番注意したのは、やはり音楽が心の一番深いところから出て来て身体全体で歌えているということです。心あるいは身体の奥底で音楽と接触し出会いうのでないと、全てが単なるアクセサリーに陥ってしまう危険が出て来ます。自分なりの出会いを深めていく作業と、テクニックの習得、音楽自体のもつ理論と歴史への展望が開けていくことが重なるのが理想的形態ではないでしょうか。しかし「言うは易く、行うは難し」です。実際にピアノに向って音楽を実現していくのは、言葉の上の議論とは別のものであることは、どのような作業に携わったことのある方なら誰でも御存知のことだと思います。決勝会での熊谷さんの演奏も、「歌う」

ことに少し意識的になりすぎた点等、問題もあったようです。ともあれ、オーディション参加が本人にとって良い経験であったことは間違ひありません。それを生かしていくのは今後の課題に属します。貴重な機会が与えられたことに、心から感謝しております。

「若林君の受賞に思う」

菊本 哲也先生（昭島市在住）

確か5月末か6月初めだったと思うが、朝日新聞の夕刊の片隅に〈ヤングのためのピアノテスト会〉という記事を目にした。昨年の毎日学生音楽コンクールに「小学時代の思い出に、ぜひ出場させてほしい……」との、本人からの申し出があり、初めてコンクールというものにかかわった私は、この記事を見て、彼にもう一度“楽しみの時”を与えてあげようと思った。彼は明るく聰明な子供である。毎日コンクールの東日本地区本選会で敗れたときも、私の気配りをよそに、その感想は「とても楽しかった」の唯一言であった。私は安心するとともに、これは頼もしい、また折があったら、と考えたのである。

こうしてヤング ピアニスト コンペティションの課題曲のレッスンを始めたのであるが、もともと譜読み、暗譜にそれほど時間のかからない彼にとって、音さらには1ヶ月もあれば十分であった。しかし、子供にとってあまりに内容の異なる課題群を、いかに弾きわかるか、いや、子供のことゆえその配慮は不要なのか、とすれば4曲もの課題は意味がない、やはり各々にふさわしい表現を要求しているのであろう……などと、無心に指を動かす本人よりも、私の方が気苦労の多い日々を送ったものである。

ところで、私のレッスンは、キーパンチャーのためのトレーニング(?)よりも、楽譜の中に盛り込まれている作曲家の心や、こまかいフォルムなどを、可能なかぎり引き出すといった姿勢で一貫している。このようなレッスンは初歩的な子供のためには不要であり、まず打鍵や運指のテクニックを十分に指導すべきであるとの意見をいただいたこともあった。しかし、街の一介のピアノ教師にすぎない私の弟子たちは、その多くが中学生の頃にやめてしまう。そんな子供たちに打鍵の特訓を強要すれば、彼らは美しい音楽への道しるべを見つけ出せないままに、音楽、少なくともピアノの練習は、たいくつで苦しいものとして敬遠することになりかねないであろう。

こんな考え方の私のところに、このたび金賞をいただいた若林君のような子供をおいておくのは、はなはだ危

険であり、早く本物のピアノ教師のもとへ渡すべきであるとの忠告もいただいている。むろん、私も本人が専門家への道を志すならば、いつまでも指導しようとは思っていない。私には私なりのささやかな音楽観があり、それを彼に渡すのにはそれほど時間がかかるないであろう。その間に彼のための良き師を探してあけたいと思っている。私は音楽の先生ではあっても、ピアノの先生としては本物ではないのだから……と自分に言い聞かせつつ……。

《その3》

お母様方からのお便り

「栄誉ある銀賞に輝き」

C級 堀 節子さんのお母様より

「節子ちゃん、ピティナ オーディションというのを受けますか?」——塙原瑛子先生からお勧めを受けて子供は大張り切りで参加致しました。

予選の日、成城学園講堂に入ってみてびっくりしました。B級の方がとても多勢だったからです。そのため、C級の審査は夜になり子供も疲れをみせましたが、ふん囲気が大変和やかで、感心致しました。幸い予選は通り、先生は少々厳しいレッスンに入って下さいました。

本選会では可愛いA級の方達の演奏も聴けましたが、わが子はいつになく緊張しすぎ、「思うように弾けなかったから決勝に残れないかも」と不安そうでした。その後暫くお報せがなく、もう落ちたものとすっかり練習をやめておりましたがそれでもと、お問合せしますと「次点ですが通ってます」とのお返事で、子供は大喜び。ロマン期の課題曲の音づくりが難しく、本人もとても苦心して練習に明け暮れたようでした。

8月29日、決勝会。子供は背が低いため、予備会で、ペダルを踏む度に椅子が後退てしまい親子とも顔色を失いました。そこで休憩時に会場係の方に滑り止めの措置をお願いしましたところ、決勝では思う存分弾けた、と満足げでした。そのうえ栄誉ある銀賞を授与され、二重の喜びに、胸がいっぱいございました。

ご指導下さった塙原先生、またこのようなハイレベルなオーディションを開催して下さった福田先生はじめ諸先生方に深く感謝申上げます。子供なりの努力も褒めてやりたい気持ですが、何よりも今はPTNAの持つ意義がいかに大きなものかをつくづくと感じ、一層の成長を願ってやまない次第でございます。

「最高の賞をいただいて」

E級 若林 豊君のお母様より

このたびは、最高の賞をいただきまして、ほんとうにありがとうございました。

頬は小さい頃から、音楽を聞くのが好きでした。ピアノを習いはじめてからも、新しい曲をもらうのが1番楽しみで、好きな曲はステレオ等で聞いては、自分からすんで弾いていたようです。

これからも、どんなことにもくじけず勉強してほしいと願っております。

「無事に弾けますように」

C級 木内 香月さんのお母様より

昨年、オーディションのB級を受け、幸い銅賞をいただきましたが、同時に、よいお友達を得て、香月はそのことの方がうれしかったようで、今年は、自分から、「お友だちに会えるからオーディション受けるよ」と言い出しました。昨年より上のC級ですし、「今年はダメなのでは……」と思つておりましたが、決勝まで残ることが出来ました。

本選会から決勝の日までの1ヶ月は、決勝まで残していただけて恥かしくない演奏をするため、猛練習をさせたい気持と、夏休みらしく遊ばせてやりたい気持とが入り混じり、落着かぬ1ヶ月でした。「オーディション受けると言つたのはだれだったの!」とヒスをおこして2kgやせた私、その間に香月は2kg増えていたという度胸のよさ。

それでも8月20日すぎると、練習中心の毎日となりました。子供っぽい香月に、メンデルスゾーンの「ファンタジーとカプリチオ」のイメージを理解させるのに、先生方は、御苦心下さったようでした。

あれよあれよと日はすぎて、29日、いつもと違って、香月が「今日は歯医者さんの椅子にすわる前みたいな気がするよ。」などと言いました。その上「くじを引いたら友だちのあとになっちゃった、友だちのあととは弾きにくいなあ。」といつにもない言葉。香月の演奏は、とても客観的にはきせず、ただ、終りまで無事に弾けますようにと、手に汗をにぎるうちにとにかく、パッタリ、止まることもなく終り、その上銀賞までいただけました。

いつもよい先生に恵まれ、運がよかったのだと心から感謝しております。香月には、毎日こつこつ練習することで、銀賞に応えることの出来る人に成長して欲しいとねがっております。

夏期研修(後期) トピックス

—S. 53年度—

PART II

8月29日(火), 30日(水)の両日, 有楽町第一生命ホールにおいて, 後期夏期研修会が開催された。

29日の朝は, 全日本ピアノ指導者協会会長の羽田孜氏もお越し下さり, 参加者の研修ムードも高まっていった。

今回は, 井上二葉氏, 板野平氏, 田端三恵子氏, 橋本英二氏, 三浦浩氏の5名の講師を迎えて行なわれ, 最終講座まで熱気あふれる有意義な研修が続けられた。



羽田孜会長挨拶

このたびは, 私ども全日本ピアノ指導者協会が主催致します夏の研修会に, たくさんの皆様が御参加下さり, 心からお礼申し上げます。この研修会は, 先生方はもちろんのこと, 御指導されている生徒さん達, また御父兄の方々にも参加していただき, まさに三味一体の勉強会であるわけです。

私どもといたしましては, 世界的に通用するピアニスト, こういった方々を生み出したいという気持ちがあります。又それと同時に, ピアノというものを勉強することによって, 豊かな奥の深い人生を送れる, そんな子供達をつくり出していきたいというのも大きな目的であり

ます。

私, 昨年フィリピンで開かれました世界の農林大臣の集まる会議に大臣代理で出席しました時に, 感心したことがありました。ちょっとした昼休みやコーヒーブレイクにも, どこからともなく大へん美しいピアノの音色が聞こえてくるのです。どんな方がサービスしてくれているのかと思うと, ある国の大蔵でした。また夕食の折にもサービスのためのピアノ演奏がありました。残念ながら, 日本の代表には, 首席代表である私自身を含めピアノを弾ける者もいないし, ピアノについて語れる者もない。非常に寂しい思いをしました。その時に一層, ただうまいとか, ピアニストとして仕事をしていくとかということだけではなくて, これから国際社会の中で生きていくためには, こういった勉強が何よりも大切なのではないかと思ったわけです。

そういう意味でもぜひ, そういうお気持ちを持って多くの子供さんを御指導していただきたいと思いますし, また, 今勉強されている子供さんには, つらい時もあるでしょうが, 長い長い将来の人生の中でピアノを勉強したことが, 豊かな人生を送れるのだという気持ちで勉強していただきたいし, またお母様方にもそのようにご介添えいただければ, 大へん有難く思います。

今日は時間がかなりかかるようですがれども, どうぞ意義ある研修をおくっていただきたいと思います。

「フランスのピアノ曲演奏法」

井上 二葉氏

「安川先生が御病気で私も大変残念です。代役ですが, できるだけのことをさせていただきます。」と静かな語り口調で一言一言かみしめるように話される。

「打楽器は場所を見てたたけるが, ピアノは持てもしないし見えもしない。自分が弦を奏でているという意識を忘れないように」ということを何度も言われ, 先生のお話に共鳴している参加者も多かったようである。



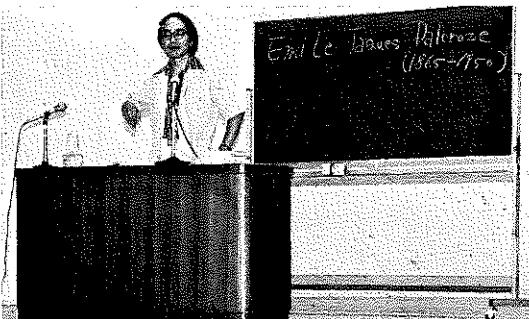
「弦を自分で奏でているということをイメージを持って弾いているだけでも何かが違ってきます」

「リトミックのすすめ」

板野 平氏

板野先生の講座は、最近注目され始めたリトミックの歴史的内容の説明から始まり、時折冗談も混じながらリトミック教育の特徴、リズムに関してのリズム論などについてわかりやすく御指導下さった。

また、そこから発展して、リトミック教育と子供のピアノ教育をいかに結びつけるかということをお話し下さい、熱のこもった研修が進められた。講座の最後には、メンバーの池田早梅氏の弟子、池田孝子さんによる即興演奏も加わり、参加者は興味深く耳を傾けていた。



「リトミックは聴音訓練のために
おこなわれるものです」



「子供の段階では完整性を望まないで、
内的なものを大切にしてあげてほしいですね」

「バロック・ロココ音楽を ピアノで演奏する時」

橋本 英二氏

日本が誇るチェンバロ奏者である橋本先生の講座は、場内を終始きらびやかなチェンバロの響きが包み、今までの講座とは違った意味での新鮮味が感じられた。

チェンバロの構造、性格を実際に弾きながら、納得いくまでわかりやすく説明され、常に参加者と一体になろうという先生のエネルギーが、参加者にも伝わってくるような意義ある研修となった。



「ハイドンは非常にユーモアの好きな人でした」

「ドイツで学んだこと」

田端 三恵子氏

テンポの早い、若々しい雰囲気に包まれた田端先生の講座は、前日のオーディションの感想から始まり、「どれだけ弾けるか」ということよりも、将来どう成長するかということが大切です」と何度も主張された。

またドイツの音楽事情を、日本の音楽事情と照らし合わせながら、興味深くお話し下さい、参加者も満足気な様子であった。



「スカルラッティはチェンバロのために
音楽をかいだ人です」

「ハイドンのピアノソナタ」

三浦 浩氏

今期最終の講座である三浦先生の講座は、3名のレッスン希望者を迎えての公開レッスン形式で進められた。

「ハイドンの音楽を考える時、清潔ということが非常に重要な課題になります。」と言われ、終始清潔感ということの大切さを強調された。

また、ハイドンの性格をユーモアたっぷりにお話しになり、楽しいムードに包まれていた。

検定合格 おめでとう



羽田会長夫人より検定証書を受ける代表者

— A 1級 (42名) —

(沖縄地区)

下地 葉子・中橋 直子・中本 千恵子・大矢 奈美・
真木 ゆみ・金城 久美子・鶴留 かおり

(徳山地区)

森川 容子・中尾 理恵・平野 利江子・斎藤 淳子・
皿井 美佐・川野 由夏・内富 紗子・滝沢 愛美・村
上 紀子

(岡山地区) 後藤 憲一・藤原 伸一・金光 昭代

(高松地区) 平井千栄子・斎藤 美月

(大阪地区) 水谷 佳代・寺西 美香

(名古屋地区)

高橋 友美・江原 広美・徳村 朱美・伊藤 洋子・水
谷 典子・長谷川 貴子・大柳 有記・戸田 明根・藤
川 幸子・池田 圭吾・岩野 めぐみ・後藤 千恵・小
島 亜矢子

(東京地区)

清水 裕・乳井 美樹・上野 陽子・大野 浩子・大島
太郎・藤枝 弓子

— A 2級 (20名) —

(徳山地区)

滝沢 詩絵・山崎 陽子・細山田 亜矢子・赤木 洋子

(岡山地区)

溝手 由美・町口 加奈・長田 敏子・国定 なおみ・
新谷 有美

(高松地区)

緒方 裕子・佐合 英理子・飛梅 雅代・蓮池 陽子・

宮内 住子

(大阪地区) 斎氏 智利世・久保 陽子

(東京地区)

楠元 順子・樺山 恵・小林 美穂・長沢 かおり

— A 3級 (50名) —

(沖縄地区)

西牟田 路子・島中 幸代・内村 友美・国吉 しょう
こ・宮城 晋子・大城 かおり・下地 まどか・宮城
幸也・中村 さおり・前原 弥生・根間 美香子・宮里
敏江・糸数 智美

(徳山地区)

中田 早苗・藤丸 亜矢子・林 克江・松本 朱美・高
田 美穂・河村 知加子・白井 知美・徳丸 亜矢子・
赤木 加代子

(名古屋地区)

古橋 恵子・加藤 日登美・荒木 美帆・月貫 涼子・
月貫 直美・岡田 千絵・加藤 一美・星野 多映・芹
内 智子・松島 博美・村上 英子

(高松地区)

田仲 亜由美・西井 麻子・香西 志奈子・三好 加寿
子・若林 景子・豊島 圭見・八木 香保里・若林 律
子・細溪 布美・岡 直子・久保 真理

(大阪地区) 池田 まゆみ

(東京地区)

吉田 朗子・中尾 真理・神野 静・吉田 和代・関
知美

— B 1級 (47名) —

(沖縄地区) 知念 美香

(徳山地区)

石田 順子・新宅 美代子・田中 文枝・内富 圭子・
清水 泉・村上 裕子・南保 圭子・山本 理恵

(岡山地区) 末広 茂美・上森 雅子

(高松地区)

秋月 なみき・井上 加寿・井上 智恵・福田 雅菜

(大阪地区)

生駒 浩二・橋本 佳子・米谷 麻紀子・前田 尚紀・
末吉 律子

(名古屋地区)

小久保 光穂・金子 真希子・浅野 輝美・江原 麻美
池田 奈穂子・長谷山 みどり・荒木 薫・牛山 朋美
藤垣 麻衣子・安達 充子・外山 公子・三枝樹 聰子
久野 知子

(東京地区)

加藤 真美子・堀 真紀子・米田 育子・高橋 恵美子
菱島 智美・富沢 真理子・若山 純子・尾崎 早都子
皆川 佳世・柳本 陸子・宮沢 幸子・山岸 京子・山
崎 圭子
(東北地区) 野口 伸子

—B 2級(21名)—

(沖縄地区) 津波古 京美

(岡山地区)

峰谷 千春・繁定 寛子・伊達 純子・藤田 由美

(高松地区)

久保 富美代・寒川 恵里子・乾 真紀・多田 佳子
(大阪地区) 池田 博美・早栗 淳子・中山 真理子

(名古屋地区)

水谷 聰子・片山 健・村木 麻衣子・前島 郁子
(東京地区)

佃 徳子・大沼 深雪・西村 規子・中西 智佳子

(東北地区) 吉岡 聰子

—C 1級(9名)—

(沖縄地区) 須田 功一・太田 恵子

(岡山地区) 西江 浩子・山崎 悅子

(大阪地区) 寺前 真季子

(名古屋地区) 山田 瑞枝

(東京地区) 松本 千恵・大隅 和音・奥地 康子

—C 2級(14名)—

(徳山地区) 西田 尚子

(高松地区) 藤沢 康一郎・中村 浩子

(大阪地区) 十川 和子・池田 育子

(名古屋地区)

岡戸 智江・大竹 智子・竹下 水緒子・鈴木 美佐子

(東京地区)

重松 優子・栗原 幸子・山崎 範子・石井 美紀・池
田 孝子

—D 1級(10名)—

(徳山地区) 柳 貴子・米山 圭子・温品 恵

(大阪地区) 岡田 真由美

(名古屋地区) 吉村 なぎさ・山田 敦子

(東京地区)

矢島 真由美・古川 美加子・徳地 久美子・伊藤 美
香

—D 2級(3名)—

(大阪地区) 矢倉 淳子

(東京地区) 塚野 純・近藤 章子

—E 級(4名)—

(東京地区)

室岡 恵子・大町 圭子・永野 圭子・山崎 洋子

—F 級(1名)—

(東京地区) 海老嶋 美子

—G 級(7名)—

(名古屋地区) 古田 智美・喜多 淳子

(東京地区)

小室 今日子・加藤 順子・岩永 晴子・福田 ひろの
小林 明子

(太字は代表で証書を受けた方です)

ピティナ検定試験を受けましょう

ぜひ、冬にも検定試験をという声が多いため、第2回の検定を開催します。初めての方、一度受けた方で次の級を受けたい方、どなたでも気軽に受けて下さい!!

竜ヶ崎12月10日(日) 曲目・検定料・審査員は、す
東京12月27日(水) べて夏期オーディション時に
岡山 冬休み中予定 準じます。

お問合せは、予定表の電話番号を御覧下さい。

防音でお困りの方・新しく音楽室を設計する方
ピアノ室 設計施工

アコースティック・
エンジニアリング

東京都新宿区左門町6番地 小野商ビル5階
TEL 03-355-2074

わたくしたちの音楽 第73号(特価300円)

昭和53年10月1日発行 1ヶ月3,600円
送 料 1,200円

編集発行人 福田 靖子

発行所 全日本ピアノ指導者協会

会 長 羽田 孝

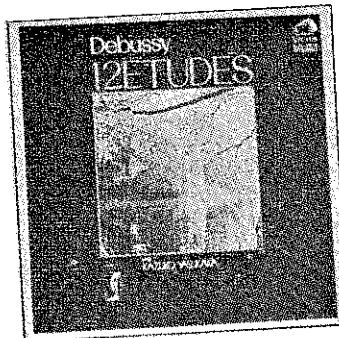
発売元 株式会社 東音企画

東京都豊島区巣鴨1-18-9 Tel.(03)944-1581

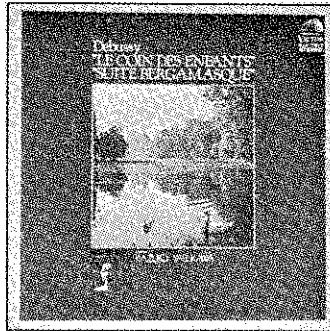


昭和49年度 日本芸術院賞受賞
安川加寿子の名演奏集

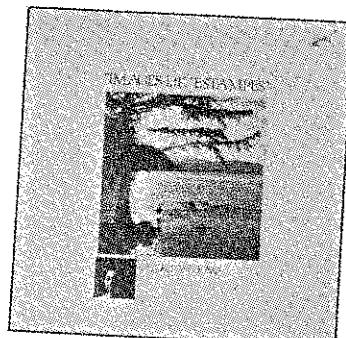
ドビュッシー・ピアノ音楽全集



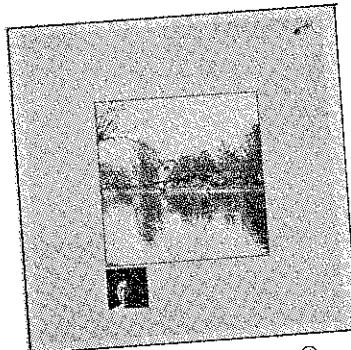
ドビュッシー・ピアノ音楽全集—①
12の練習曲
ピアノ=安川加寿子
■SJK-7512 30cmステレオ・LP ¥2,200



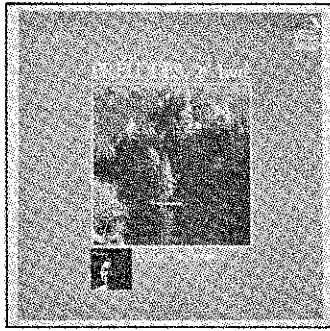
ドビュッシー・ピアノ音楽全集—②
子供の領分／ベルガマスク組曲
／小さな黒ん坊／
スケッチ・ブックから
ピアノ=安川加寿子
■SJK-7513 30cmステレオ・LP ¥2,200



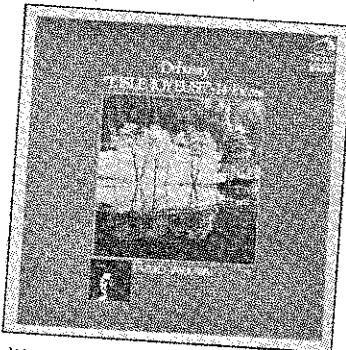
ドビュッシー・ピアノ音楽全集—③
映像 第1集、第2集／版画／
ピアノのために
ピアノ=安川加寿子
■SJK-7514 30cmステレオ・LP ¥2,200



ドビュッシー・ピアノ音楽全集—④
ドビュッシー「前奏曲集」第1巻
ピアノ=安川加寿子
■SJK-7515 30cmステレオ・LP ¥2,200



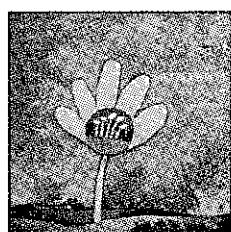
ドビュッシー・ピアノ音楽全集—⑤
ドビュッシー「前奏曲集」第2巻
ピアノ=安川加寿子
■SJK-7516 30cmステレオ・LP ¥2,200



ドビュッシー・ピアノ音楽全集—⑥
ドビュッシー「喜びの島」～
14の小品集
ピアノ=安川加寿子
■SJK-7517 30cmステレオ・LP ¥2,200

安川加寿子の
ピアノ教則
レコード集

指導・演奏=安川加寿子



- ピアノ教則レコード—①
メトード・ローズ(上)
■SJV-1201 30cmLP ¥1,800
ピアノ教則レコード—②
メトード・ローズ(下)
■SJV-1202 30cmLP ¥1,800
ピアノ教則レコード—③
ピアノの練習A B C
ピアノの練習ラジリテ
■SJV-1203 30cmLP ¥1,800

- ピアノ教則レコード—④
ピアノ小曲集(1)
■SJV-1204 30cmステレオ・LP ¥1,800
ピアノ教則レコード—⑤
ピアノ小曲集(2)
■SJV-1205 30cmステレオ・LP ¥1,800
ピアノ教則レコード—⑥
ピアノ小曲集(3)
■SJV-1206 30cmステレオ・LP ¥1,800



ピカーレコード